

みんなの 活動だより

ねん がつ
2016年3月
だい
第38号

はっこう ほうほう ぶかい
発行:MISHOP広報部会



ポーランドの家庭料理に挑戦 1/30

「世界を食べよう!ポーランド」に27人参加

「世界を食べよう!」の「ポーランド」が1月30日、連雀コミュニティセンターで開催され、韓国、ベトナムなど外国籍市民5人を含む27人が参加しました。

講師を務めたのはポーランド出身の菊地マウゴジャタさん。ワルシャワ大学日本語学科在学中に熊本大学に2年間留学した経験を持ち、母国で長年、日本関係の仕事をしてこられました。2012年、娘さんと来日。今年度のキック・オフ・ミーティングで母国紹介の講演をし、フェアウェルパーティ2015では娘さんと民族舞踊を披露してくれました。

この日の献立はポーランドの代表的な家庭料理の「そばの実入りのスープ」「ジャガイモのパンケーキとソース」「ザワークラウトのサラダ」「リンゴのコンポート」の4品。4班に分かれて調理する中をマウゴジャタさんがごまめに回って、野菜の切り方や味付けを指導しました。



▲講師のマウゴジャタさん



ジャガイモのパンケーキは、ジャガイモとタマネギをすりおろして水気を切った生地をパンケーキのように焼いて、豚肉やベーコン、野菜などを煮込んだソースをかけて食べます。モチモチした食感の生地と、クミンなどの香辛料が効いたソースがよく合い、「おいしい」との声が次々と上がりました。

食後にはマウゴジャタさんがパワーポイントを使って母国の歴史や有名人などを紹介。「皆様のご協力で今日は楽しい会になりました」とマウゴジャタさん。参加者の韓国出身の女性は「特においしかったのはジャガイモのパンケーキ。いろんな方と話しながら作るのが楽しかったです」と感想を記していました。



Polish Homemade Cooking Class Held 27members participated in “Let's Eat Around the World!” (Poland)

On January 30th, we had our Poland version of “Let's Eat Around the World!” Twenty-seven members attended. Guest lecturer was Mrs. Małgorzata Kikuchi. The specialty of the day was potato pancakes.

Małgorzata demonstrated how to prepare the food and then supervised the cooking.

To make the potato pancakes, we first grated the potatoes & onions, mixed it with the dough, and fried it like pancakes. Next, we poured on the sauce—which was contained bacon, vegetables and spices. When done, it was so good, everyone exclaimed “It's delicious!”

Afterward Małgorzata spoke about Polish culture. She finished, saying, “I had so much fun today, thanks to all of you!”

Małgorzata moved to Japan in 2012.



プレゲンス教授の 日本語ボランティア講習会開催

2/6



2月6日、「初心者（学習者）がすぐに正しく使える日本語について～テキストには載ってない少し視点の違う教え方～」と題して、MISHOP 副理事長でルーテル学院大学教授のジャン・プレゲンスさんによる日本語ボランティア講習会が開かれ、LLJ 会員ら 38 人が参加。テーブルごとのディスカッションもあり、盛り上がりしました。

プレゲンスさんは初めに「第一言語と第二言語の習得では何が違うか」という問題を提起。テーブルごとの議論で「母国語は聞いて自然に覚えるが、第二言語は文法から入ります」といった答えがありました。

プレゲンスさんは「言語と世界観は切り離せません。第二言語を思春期までに覚えるとネイティブになるように、状況から学ぶことが大きいです」と話しました。

また「生徒に丸暗記してもらうのは、どういうこと」という問題を提起。「ありがとう」「どういたしまして」などの挨拶や決まり文句などの言語行動が日本語には多いので、何回も練習することに意味があると力説しました。

最後に「生徒にどの段階から文法を教えるべきか」との問いかけに「生徒を学習の中心にした上で、間違いをいちいち指摘せず、授業中にメモを取ってほめながら直しては」、日本での生活の状況をたくさん見せた上で「生徒が自分で発見するように導いてください」など、ユーモア交え、日本語の先生にとって示唆に富んだ話に、熱心にメモを取る姿が見られました。

Prof. Plagens Lectures to Japanese language volunteers

On February 6th, Professor Plagens, our vice chairman, gave a thought-provoking (and humorous) lecture to LLJ volunteers about the subtleties of language teaching. He covered, among other things,



what should be taught by rote and when to introduce grammar.

The volunteers eagerly took notes as he summarized, saying, “Because language is tied to worldview, one will never reach native level unless one learns before puberty. So it is best to teach standard greetings and idioms and focus on the student's context while pleasantly allowing them students to self-correct.”



韓国の大学生らが茶道体験

1/15

外国籍市民と日本人が日本語で交流する「ジャパニーズラウンジ」で、1月15日、「茶道体験会」が開かれました。ラウンジ参加者のベトナム、スリランカ、中国など外国籍の18人のほか、MISHOPの見学に訪れた韓国・全州大学映画学科の学生と教員12人も参加。即席の茶席で会員が立てた抹茶を味わい、日本の伝統文化に触れました。



KOREAN UNIVERSITY STUDENTS ATTEND TEA CEREMONY

Jan. 15th. Students and faculty from Jeonju University's Film Department also attended our Tea Ceremony. All enjoyed the traditional Japanese culture.



外国籍市民が講師となって母国の家庭料理を紹介する「世界を食べよう」は、ポーランド編でなんと70回を迎えました。ベトナム、カンボジア、韓国、クロアチアなどこれまでに取上げた国は31カ国。様々な国籍、年代の人が一緒に調理しながら交流できることから人気のプログラムです。

We just enjoyed delicious Polish food at our 70th “Let's Eat Around the World” event.